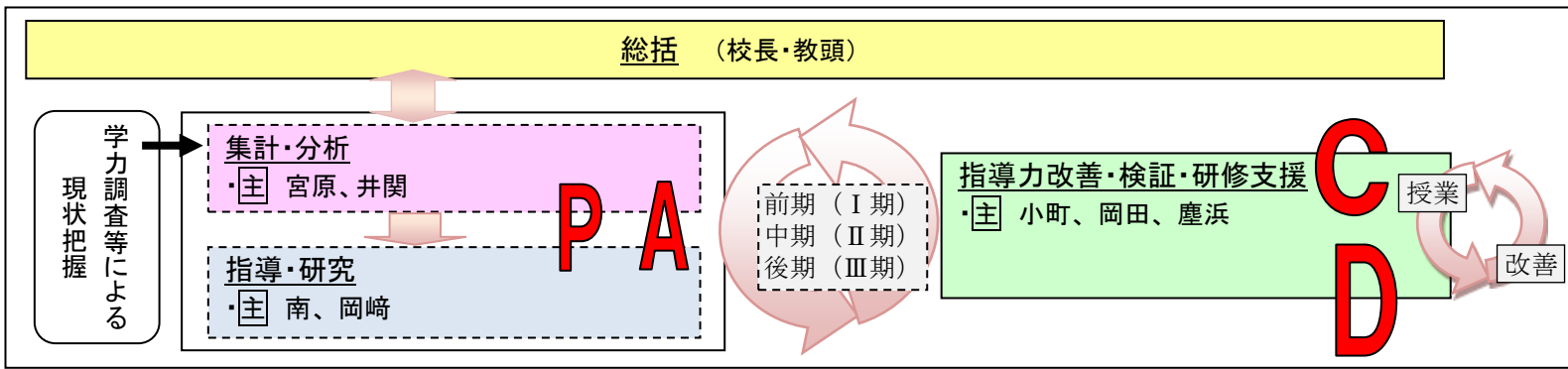


令和7年度 珠洲市立大谷小中学校 学力向上ロードマップ

研究主題

説得力 UP！根拠を明らかにし、自分の考えや思いを筋道立てて表現できる児童生徒



目指す児童生徒像
自ら学び、考え、他者と協働して課題解決に向かう児童・生徒

前年度後期(Ⅲ期)プランの検証⇒要因分析

月	行事等	①総括 校長・教頭	②集計・分析 宮原、井関	③指導・研究 南、岡崎	④指導力改善 小町、岡田、塵浜
4	県基礎学力調査実施 全国学力調査実施	年間のゴールの姿 根拠を明らかにし、 自分の考えや思いを 筋道立てて表現できる 児童生徒	現状と課題 ○自分の考えを端的に 分かりやすく説明する ことができるようになって きた。 ▲自分の考えの根拠が 乏しく、説得力に欠ける。 ↓ 児童生徒の考えと根拠 を結びつけるための問 い返しや手立てが足り ていない。	研究推進委員会 ・年間のゴールの姿の設定 校内研修会 ・研究の方向性の共通理解 ・具体的取組の確認	・個で考える(自力解決)時間を十分に設定する。 ・三角ロジックを活用する。 ・「聞き方名人」の指標を5までクリアしている。 児童生徒アンケート 教員アンケート ノート検証
5	学力向上推進研修			校内研修会 ・指導案の形式確認 ・学力調査の分析	・個で考える(自力解決)時間を十分に設定する。 ・三角ロジックを活用する。 ・「聞き方名人」の指標を5までクリアしている。 ・小町教諭研究授業(14日) ノート検証 参観シート(14日) 検証問題
6				校内研修会 ・取組の確認	・個で考える(自力解決)時間を十分に設定する。 ・三角ロジックを活用する。 ・「聞き方名人」の指標を5までクリアしている。 ・宮原教諭研究授業(18日) ノート検証 参観シート(18日)
7		年間のゴールの姿 根拠を明らかにし、 自分の考えや思いを筋道立 てて表現できる 児童生徒	採点集計・分析 ・自校誤答分析との比 較(7/31) ・経年比較(8/4) ・クロス集計等(8/10) 課題発見・原因究明	校内研修会 ・Ⅰ期の振り返り	・個で考える(自力解決)時間を十分に設定する。 ・三角ロジックを活用する。 ・「聞き方名人」の指標を5までクリアしている。 児童生徒アンケート 教員アンケート 検証問題
8				研究推進委員会 ・年間のゴールの姿、取組の見 直し ・Ⅱ期プランの提案、共通理解	
9				校内研修会 ・取組の確認	・授業の具体的取組 ・基盤の具体的取組 ノート検証
10	学力向上フォーラム			校内研修会 ・取組の確認	・授業の具体的取組 ・基盤の具体的取組 ・井関教諭研究授業(19日) ノート検証 児童生徒・教員アンケート 参観シート(19日) 検証問題
11		年間のゴールの姿 根拠を明らかにし、 自分の考えや思いを 筋道立てて表現できる 児童生徒	採点集計・分析 ・自校誤答分析との比 較(12/26) ・経年比較(12/27) ・クロス集計等(1/6) ・指標問題分析(1/7) 課題発見・原因究明	校内研修会 ・取組の確認	・授業の具体的取組 ・基盤の具体的取組 ・南教諭研究授業(19日) ノート検証 参観シート(19日) 互見授業月間
12	評価問題実施			校内研修会 ・Ⅱ期の振り返り 研究推進委員会 ・年間のゴールの姿、取組の見 直し	児童生徒・教員アンケート 検証問題
1				校内研修会 ・Ⅲ期プランの提案、共通理解	・授業の具体的取組 ・基盤の具体的取組 ノート検証
2	学力向上推進研修			校内研修会 ・取組の確認	・授業の具体的取組 ・基盤の具体的取組 ・岡田教諭研究授業(10日) ノート検証 参観シート(10日)
3		次年度 年間のゴールの姿	成果と課題の分析 成果の原因の特定 課題の原因の特定 次年度数値目標	校内研修会 ・Ⅲ期取組、今年度の取組の振 り返し 研究推進委員会 ・次年度の方向性について	学校研究総括 成果と課題の共有 児童生徒アンケート 教員アンケート 検証問題 ノート検証